

2017年11月19日(日)

説教:「わたしにつながっていないさい」(子ども祝福式)

聖書:ヨハネによる福音書15:4~5

人は、必ず何かに繋がって生きています。出来るだけ具体的なもの、目に見えるものと繋がってようとして、安心感を得ようとして繋がっています。人は、誰とも繋がっていないと感じると、孤独を感じ、みじめな気持、とてつもない寂しさに悩まされるものだったりします。そのことがまた、人の弱さに繋がり、様々な誘惑が私たちと繋がろうとします。ですから、私たちが何に繋がり、誰と繋がるかはとても大事になってきます。

イエスは、「わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている」と言葉をかけています。この言葉には、「私はあなたを愛している、あなたは決して一人ではない、私はあなたに繋がっているよ!」ということが先にあって、だから私のことを忘れないで「わたしにつながっていないさい」となるのです。

聖書は別の言葉で「わたしの愛にとどまっていなさい」とも言います。自分が愛されているということに気づかされる時、その繋がりは愛に満ち、慰めと励まし、勇気と希望に繋がっていきます。このことは、神からの一方的な“愛”ということです。またイエスは、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ」と言います。この「豊かな実」とは、どのような実のことを言っているのでしょうか？

私たちはまた、どのような実を期待しているのでしょうか？お金持ちの実、知識が一杯になる実、権力や名誉の実でしょうか？どれかがダメで、どれならイイということでは勿論ありません。この「豊かな実」とは、このあと聖書を読み進めて行きますと、「豊かな実」とは、「愛し合う」こと、「互いに愛すること」、それが出来る「愛の実」の事というのです。“えっ、そこですか?!”と聞きたくなるかも知れませんが……。ただ、もし愛が無ければ、沢山のお金があったとしてもどのように使うでしょうか？もし愛が無ければ、知識、権力や名誉も悲惨な状況が目に見えて来るかと思えます。

イエスが「わたしにつながっていないさい」というのは、「わたしの愛にとどまっていなさい」ということであり、“私は愛されている”ということに気づかされて生きるということが、どんなにその人を豊かにすることが出来るのでしょうか、ということであるのです。(神谷)